

岐阜聖徳学園大学（短期大学部を含む）全体のFD方針、FD目標及び評価指標について

大学全体のFD方針

- ・大学全体での組織的な取組を通して、教育・研究・諸活動における能力の向上を図る。
- ・研修等の取組を通して、教育課程の理解を深めるとともに授業の内容及び方法の改善を行う。

大学全体のFD目標

岐阜聖徳学園大学におけるFD活動の目標は次のとおりとする。

1. 各学部教員に対してFD目標の周知を行う。
2. 教員の質的向上を図るため大学全体で組織的な取り組みを行い、大学全体での教員の資質向上を図るためのFD活動を推進し、点検・評価を実施する。
3. 授業の内容改善を図るため、研修会を定期的に開催し、その成果を教職員に周知して、実際の授業改善に結びつける。

評価指標

1. FD目標の周知

評価 実施：S 未実施：C

2. ①全学FD研修会への参加者数（目標値：7割以上の教員出席）

評価 9割以上：S 7割以上9割未満：A 5割以上7割未満：B 5割未満：C

- ②全学FD研修会の効果

評価 アンケート項目 1. 今後の研究活動に役立つか？における回答

「非常に役に立った・やや役に立った」の割合

9割以上：S 7割以上9割未満：A 5割以上7割未満：B 5割未満：C

3. ①授業の内容及び改善を図るための研修会（全学FDサロン）への参加者数（目標値：7割以上の教員出席）

評価 9割以上の出席：S 7割程度の出席：A

6割程度の出席：B 5割未満の出席：C

- ②全学FDサロンの効果

評価 アンケート項目 1. 授業改善を行う上で参考になりましたか？における回答

「非常に参考になった・やや参考になった」の割合

9割以上：S 7割以上9割未満：A 6割以上7割未満：B 5割未満：C

各研究科・各学部におけるFD活動の目標及び評価指標について

(1) 国際文化研究科

国際文化研究科におけるFD活動の目標は次のとおりとする。

1. 教員の組織改善のためのFD活動を行う。また、教員の資質（研究能力）向上のためのFD活動を行う。
2. 授業内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究を実施する。

評価指標

1. ①教員の組織改善のためのFD活動実施の有無
評価 実施：S 未実施：C
②教員の資質向上のためのFD活動実施の有無
評価 実施：S 未実施：C
③FD活動研修会への参加率
評価 参加率 80%以上：S 70-79%：A 60-69%：B 60%未満：C
2. ①学部との合同開催の授業の内容及び改善を図るための研修会への参加者数
(目標値：80%以上の教員出席)
評価 80%以上の出席：S 70-79%の出席：A
60-69%の出席：B 60%未満の出席：C
②FDサロンの効果
アンケート項目 1. 授業改善を行う上で参考になりましたか？における回答
「非常に参考になった。やや参考になった」の割合
評価 80%以上：S 70-79%：A 60-69%：B 60%未満：C

(2) 経済情報研究科

経済情報研究科におけるFD活動の目標は次のとおりとする。

1. 教員の資質（研究能力）と大学院生の研究能力を高めるためのFD活動
最新の話題を含めた講演会を開催し、教員の資質（研究能力）向上に繋げるためのFD活動を行う。
2. 次年度のFD活動に向けた検証と改善
FD活動を実施し、受講者のアンケート結果から、次年度のFD活動に向けた検証と改善を行う。

評価指標

1. アンケート項目 2. 研修内容は適切でしたか？における回答「適切だった・やや適切だった」の割合
評価 9割以上：S 7割以上9割未満：A
5割以上7割未満：B 5割未満：C
2. ①アンケート項目 時間・日程の設定は適切でしたか？における回答「適切だった・やや適切だった」の割合

評定 9割以上：S 7割以上9割未満：A

5割以上7割未満：B 5割未満：C

②次年度のFD活動に向けた検証と改善

評定 実施：S 未実施：C

(3) 教育学部

教育学部におけるFD活動の目標は次のとおりとする。

1. 教員養成課程に関する共通理解を深め、学生指導に関する資質・能力の向上の意識を高める。
2. 授業内容及び方法に関する組織的研修・研究を実施し、改善への意識を高める。

評価指標

1. ①教員間の意見交換の場について実施記録を教職員に周知する。
②前年度に意見交換の場に出された意見および前年度アンケート結果を反映した研修会を実施する。
③教員養成課程に関する共通理解または学生指導に関する資質・能力向上の意識について研修会後にアンケート調査を実施する。
④年度末に教育学部FD活動に関する振り返りのアンケート調査を実施する。
⑤他大学の取り組みについての調査・検討から、活動の改善を検討する。
評定 すべて実施：S 3項目実施：A 1～2項目実施：B 未実施：C
2. ①教員間の意見交換の場について実施記録を教職員に周知する。
②前年度のアンケート結果を反映した研修会または意見交換を実施する。
③研修会を受けての授業改善への意識について研修会後にアンケート調査を実施する。
④年度末に教育学部FD活動に関する振り返りのアンケート調査を実施する。
⑤他大学の取り組みについての調査・検討から、活動の改善を検討する。
評定 すべて実施：S 2項目実施：A 1項目実施：B 未実施：C

(4) 外国語学部

外国語学部におけるFD活動の目標は次のとおりとする。

1. 充実した授業構築と学生指導に向けて、教員の資質・能力向上の意識を高める。
2. 組織的研修を実施し、教員の研究における資質向上の認識や取り組みへの関心意欲を高める。

評価指標

1. ①FD活動アンケートの実施とその結果を踏まえて、より良い授業構築と学生指導への意識改革を行う。
②「授業公開ウィーク」および「学部FD研修会」を実施し、授業や研修を通して教員間で学びあう機会を設け各自の授業改善の意識を高める。
③学部行事や民間試験等の結果を活用して学生の実態や学力を把握し、具体的な学生

指導内容に関する認識を高める。

評定 全項目で成果を確認：S 2項目で成果を確認：A

1項目で成果を確認：B すべてに成果なし：C

2. ①全学FD研修会、全学FDサロン等の研修会を通して研究活動への意欲喚起を行い、研究への意識向上を図る。

②研究助成金等の学内外の応募型研究への関心意欲を高め、研究活動をより活発化する。

評定 全項目で成果を確認：S 1項目で成果を確認：A すべてに成果なし：C

(5) 経済情報学部

経済情報学部におけるFD活動の目標は次のとおりとする。

- 2022年度FD活動を振り返り、教員の資質・能力の向上及び授業内容の改善に資するFD計画を策定し、FD活動を推進する。
- 教員の資質を高めるFD活動とするために、
 - ・研修後のアンケートの実施
 - ・アンケート集計結果を基にFD活動の検証
 - ・次年度のFD活動の検討の3項目を実施する。
- FD活動改善促進のためにアンケート集計結果を次の会議までに部会で情報共有する。

評価指標

1. 評定 実施：S 未実施：C

2. 評定 すべて実施：S 2項目実施：A 1項目実施：B 未実施：C

3. 評定 実施：S 未実施：C

(6) 看護学部

看護学部におけるFD活動の目標は次のとおりとする。

- 教育・研究における資質・能力の向上を図るために、FD研修会を実施し、学部FD研修会の毎回の平均参加率を設定し、その効果を検討する。
- 学生の授業評価、および教員間相互の授業参加を実施し、結果をフィードバックする。

評価指標

1. ①学部FD活動への平均参加率

評定 7割以上の出席：S 6割程度の出席：A

5割程度の出席：B 5割未満の出席：C

②FD研修会の実施とアンケート結果を踏まえた検討の有無

評定 実施：S 未実施：C

③アンケート項目 1. 本日の研修は有意義でしたか？における回答「大変有意義だった・やや有意義だった」の割合

評定 9割以上：S 7割以上9割未満：A
5割以上7割未満：B 5割未満 : C

2. ①学生の授業評価

評定 実施 : S 未実施 : C

②教員間相互の授業参加

7割以上：S 6割程度：A
5割程度：B 5割未満：C

(7) 短期大学部 幼児教育学科第一部・幼児教育学科第三部

大学全体（短期大学部全体）のFD方針・FD目標・評価指標と同内容とする。